

新たな戦略に係る取組みについて

平成21年4月9日
経済産業省

ITによる経済・産業の活性化

1. ITは、経済社会の活性化に加え、変革の牽引車として、新しい経済社会システムを実現。

- ・「IT機器自身の省エネ」と「ITによる社会の省エネ」を推進する「グリーンIT」によって、2030年には国内全体で必要な省エネの約1/3相当(※)を実現

(※): 5900億kwh。2006年の我が国の総発電力量の約6割

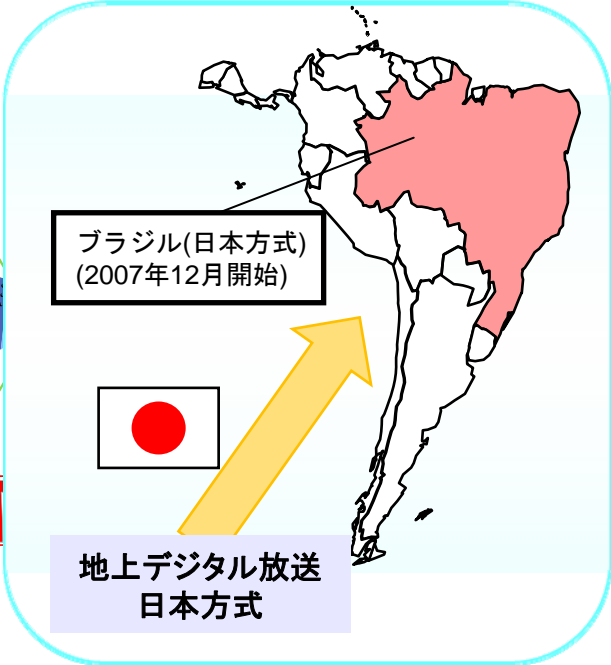
- ・ITを活用した中小企業の経営革新により、活用していない企業よりも生産性が平均15%高い
- ・情報処理技術者の有効求人倍率(2009年2月)は1.38倍(全国平均:0.58倍)

2. 具体的には、以下のようなプロジェクトを推進。

「グリーンIT」で世界を牽引



国際連携強化



ITによる中小企業の経営革新・産業変革

- ・今後3年間で100万社まで利用可能なソフトウェア・サービス型の中小企業IT基盤を整備し、売上高・利益率を飛躍的に向上。
- ・さらに、自動車、情報家電等基幹産業のIT活用によって産業競争力を強化するとともに、ものづくり・サービス・コンテンツの融合による新産業を創出。

中小企業IT基盤



次世代電子政府の構築

○ITの力によって、民間の発想を最大限に活用し、真に国民本位の次世代電子政府を構築。

○具体的には、安全・安心な行政サービス提供基盤の構築を実現。

安全・安心な行政サービス提供基盤の構築

- ◆個人認証(本人確認手段)の多様性・柔軟性を確保。
- ◆行政と民間のサービス連携を可能とする基盤を構築。

